

■福島安正 陸軍軍人。明治期きっての情報将校。シベリア単騎横断で英雄化。大陸情報収集で日清・日露戦争参謀。

ふくしまやすまさ

万次郎帰国・1852＝ 信濃国松本藩士の長男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 1歳：

開国開港・・・1854＝ 2歳：母が死去し、祖母に育てられる。

桜田門外変・1860＝ 8歳：

遣欧使節・・・1861＝ 9歳：

8月18日政変 1863＝11歳：茶道部屋の雇となるも、奴隷のような扱いに耐えられず、

薩摩藩士密航1865＝13歳：江戸に出る許しを得、

以後、江戸と郷里を往復しながら勉学に励み、英学と地理に才能を示す。

明治維新・・・1868＝16歳：

初の日刊新聞1870＝18歳：

司法省翻訳官から、

明治6年政変 1873＝21歳：

佐賀の乱・・・1874＝22歳：_語学力を買われて陸軍省第六局(後の参謀本部)で翻訳に従事、

_次いで武官に転じ、

西南戦争・・・1877＝25歳：_<西南戦争>に参謀として従軍後、

大久保暗殺・1878＝26歳：_陸軍中尉。_参謀本部管西局員となり、

琉球処分・・・1879＝27歳：_北京中心に情報収集に当たったのを皮切りに、

明治14年政変1881＝29歳：

新体詩抄・・・1882＝30歳：朝鮮で暴動が起こり(壬午の乱)、急遽出張を命じられ、榎本武揚と出会い、

岩倉具視没・1883＝31歳：その縁で*正式に清国公使館員(武官)となると、短期間に膨大な調査資料をまとめ上げ、

秩父事件・・・1884＝32歳：_帰国すると、朝鮮で再び騒動となり、介入平定した清国との交渉団に随行し、帰国後軍事意見書を提出。

提案を認めた参謀本部次長川上操六に命じられ、

帝国大学始・1886＝34歳：_インド・ビルマ方面を視察、「インド形勢摘要」をまとめ本部に送る。イギリスの情報管理に触れ成長。

国民之友始・1887＝35歳：_ベルリンに三代目の駐在武官として赴任、ドイツを訪問した川上と意見交換等し、

初の対等条約1888＝36歳：_バルカン半島巡回の旅に出、

帝国憲法発布1889＝37歳：_参謀本部第2(情報)部長。東欧を視察して

帝国議会始・1890＝38歳：_ベルリンに戻る。

足尾鉋毒始・1891＝39歳：_日本からの打電で天津事件に続いて、ロシア皇太子一行が帰国後シベリア鉄道起工式に出ると知るや、

大本教・・・1892＝40歳：_沸き起こる冒険心から、シベリアを単騎横断を企て実現して、

郡司千島探検1893＝41歳：_*帰国、一躍有名となった。「単騎遠征報告」。

日清戦争始・1894＝42歳：_<日清戦争>では第一軍参謀をつとめ、朝鮮、

日清戦争終・1895＝43歳：_続いて台湾で情報活動。編纂課長を命じられ、欧州・アジア各地の探査旅行に出、トルコから、

白馬会・・・1896＝44歳：_ベルシャ・中央アジアを回って、

八幡製鉄始・1897＝45歳：_帰国。

Bushidou・・・1899＝47歳：_信頼する上司川上操六が死去。

ビア/国産化・1900＝48歳：_<義和団事変>に際して臨時派遣隊司令官となったほかには軍隊指揮官の経験がなく、

教科書疑獄・1902＝50歳：_海外情報編纂委員会委員長に任じられる。

日露戦争始・1904＝52歳：_日露戦争中は満州軍参謀として出征するなど、_約30年を情報将校一筋で通し、

日露戦争終・1905＝53歳：

満鉄発足・・・1906＝54歳：_*戦後、ようやく参謀次長に昇格。

韓国反日暴動1907＝55歳：_中将、男爵となり、

明治天皇没・1912＝60歳：_第二代関東都督に就くや、早速道路建設に乗り出し、

_州内人民にも歓迎された大道路網をほぼつくり上げ、植林事業も実施して、

第一次大戦始1914＝62歳：_帰国。大將に進級して予備役、帝国在郷軍人会副会長のかたわら、退廃する世を憂えて、剛健旅行と称し

、馬に跨り、各地の小学校を訪問し、また、青年を集めて講演する全国縦断の旅に出たが、

21ヶ条要求・1915＝63歳：_*脳溢血で倒れ中断。なお、満州愛川村への移植失敗を忘れず、故郷の長野県教育界に話を持ち込み、

民本主義・・・1916＝64歳：_第二次移民が実現し、愛川村に定着したのを見て、

ベル仁条約・1919＝67歳：_没した。